

せとうちちょう 議会だより

第160号

平成28年2月発行

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地

大島本島南部議会議員大会



開会のことばを述べる岡田副議長

会長あいさつを行う安議長



本町議題の提案理由説明を行う向野総務経済委員長

研修会で講演を行う東大医科学研究所の服部先生

大島本島南部町村議会議員大会（宇検村、大和村、瀬戸内町3町村で構成）が、2月10日（水）本町農協会館において、地元選出県議会議員、大島支庁長ら出席のもと盛大に開催されました。

本町議題として、「国道58号勝浦～阿木名間トンネルの早期実現について」を提出し、採択されました。（向野 忍議員が提案理由説明）

また、議員大会後には、東大医科学研究所の服部 正策先生を講師に招き、「ハブと世界自然遺産」と題し講演が行われました。

第4回（12月）定例会では、補正予算議案7件、条例議案5件、契約議案4件、その他議案2件の計18件の議案を審議し、それぞれ可決しました。

主な議案の要旨は次のとおりです。

一般会計補正予算
(第3号)

町文化会館（仮称）建設
を見直し

主な内容は、中央公民館跡地に建設予定であった、町文化会館（仮称）整備は、駐車場の確保対策、対象事業の低率補助及び事業費の増大等の問題などから建設計画の見直しに伴い7億1607万2千円の減額。

市街地再開発基本設計委託料1000万円、ふるさと応援基金事業費4535万8千円、緊急支援助交付金1930万円、母子センター修繕220万円、特殊病害虫対策として6942万8千円、養豚団地関連設計委託料として1325万円、節子地区防波堤安全防護柵として200万円、町営住

宅改装費として1500万円、新年度生徒（中学校）教材費として1700万円などを追加するものです。総額4億5067万5千円を減額しました。

瀬戸内町名誉町民
「瀬田良一」大学入
学一時金貸付基金条
例の改正

範囲の拡大（短期大学）と返済開始が卒業後に古仁屋高校卒業生が、4年生大学に進学する場合に一時金（100万円）として貸付を行っていたが、短期大学へ進学する卒業生も対象とするよう範囲を広げると共に、入学1年後から返済開始であったものを、卒業後に返済開始することにより、保護者の経済的負担を軽減するものです。

フェリーかけるま代
替船建造請負契約

フェリーかけるまの老朽化に伴う代替船建造で、寿工業株式会社（いちき串木野市）と5億5188万円です。契約しました。

加計呂麻島
高規格救急車売買契
約

加計呂麻島に配備されている救急車の老朽化に伴い、特定離島ふるさとおこし推進事業で高規格救急車を購入するもので、鹿児島トヨタ自動車株式会社（鹿児島市）と1834万5031円で契約しました。

加計呂麻島
高規格救急車積載医
療資器材売買契約

特定離島ふるさとおこし推進事業で加計呂麻島に配備される高規格救急車に積載する高度救命処置用資器材一式を購入するもので、株式会社名瀬メディカル（奄美市）と873万2880円で契約しました。

与路島
農業機械売買契約

特定離島ふるさとおこし推進事業で、与路島に畜産振興用としてトラクター等を購入するもので、合資会社瀬戸内鉄工所と2083万3200円で契約しました。

一般質問

第4回（12月）定例会では、9名の議員が町政全般に亘り、質問・提言等を行ない議論を交わしました。一部を要約して紹介いたしますが、記事に関しては、質問議員の責任において掲載しています。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



波島芳臣議員

議員 文化会館建設について

文化会館建設に伴い、これまで、設計委託料270万円、基本設計料2030万4千円、実施設計料4781万7千円、解体設計料154万4千円、地質調査費518万6千円、解体工事費3671万4千円、総額1億1424万5千円と相当の予算が積み込まれています。文化会館建設を進めなければ、すべて無駄金となって捨ててしまう事になります。文化会館建設のスケジュールを伺います。

町長 検討した結果、現計画を一旦白紙に戻し、計画

の再構築を図ることとしました。今後、防災コミュニティセンターを公民館跡地に建設を予定しております

議員 グラウンドゴルフ場の建設について

近年のグラウンドゴルフ競技人口増加に伴い、前町政において大規模なゴルフ場建設計画の表明があり、予算化し、土地所有者の町田建設との協議も順調に進展してまいりました。何年もかけて申請したトト宝くじ助成金3840万円も認められ、少ない予算で、立派なグラウンドゴルフ場が出来るものと皆さん大変喜んでおりました。今後の整備計画を伺います。

町長 今後、適地や補助事業等を模索しながら、グラウンドゴルフ場整備に向け、計画を見直して参りたいと

考えております。

議員 農業振興について

ミカンコミバエ根絶に向けての作業手順、根絶見込時期、生産者への支援内容をお尋ねします。

町長 早期根絶に向け、ヘリコプターによる航空防除を実施していきたいと思

います。生産者への支援内容は適正な用途と単価に基づくもので、客観性を重視したものとし、買い上げ額を設定しております。

議員 瀬相地区の直売所の職員配置状況、今後の運営方法、直売所の発展に向けた意気込みを伺います。

町長 臨時職員として店長1名、副店長1名雇用し、パート雇用を8名採用しており、1日3名〜4名体制

で業務を行っております。今後は機能を向上させるため、内部評価の実施や外部の意見を取り入れながら、より良い管理運営方法の向上に努めたいと思います。

議員 環境整備について

古仁屋小学校校庭にある野球用バックネットの腐食がひどく、強風により倒れそうな危険な状態であります。大きな事故が起きる前に補強する必要があります。この整備計画を伺います。

教育長 古仁屋小学校校庭バックネットの腐食について確認したところ、18本の鋼管の腐食、破損が

あります。社会人のソフトボール大会の利用度も高く、今後の子供への安全性を考え、早めに町部局と協議し対応したいと考えております。



澤 佳男議員

平成27年度 8026万円。
となっております。

議員・意見 海浜バスと加

計呂麻バスの1キロ当たりの運行経費が、海浜バス230円、加計呂麻バス262円となっておりますが、奄美市名瀬の「しまバス」の1キロ当たりの運行経費は、170円です。

「しまバス」との1キロ当たりの運行経費の差額は、海浜バスで60円、加計呂麻バスで90円になります。

海浜バスも加計呂麻バス

も年間の総走行距離は、20万キロを超え、「しまバス」との年間運行経費の差額は、海浜バスが1200万円、加計呂麻バスが1800万円になります。

合わせて、瀬戸内町の路線バス（海浜バス、加計呂麻バス）は「しまバス」よりも年間で3000万円も経費が

高くついているのです。同じ

奄美大島内のバスの運行経費が、なぜこんなに違うのですか。

バス会社（海浜バス、加計呂麻バス）の運賃収益と運行経費の身をきっちりと行政が精査・把握した上で、町内路線バスの100円均一料金の運行を実施するよう、手続きを進めていただきたいと考えています。

その他の質問

◆上水道と簡易水道の合併問題について

◆「フェリーかけるま」の乗組員の接遇教育について

◆介護保険料について



安 和弘議員

議員 町長の政治姿勢・政策について

1. 文化会館建設の見通し設計、解体、更地にするまでもなお、白紙に戻すのか。

町長 駐車場の確保、対象事業の低率補助などの問題

から全体計画の見直しを行い、複合施設としての現計画を一旦白紙に戻し、計画の再構築を図ります。

議員 2. グラウンドゴルフ場建設の見通し

グラウンドゴルフ愛好家は、町内はもとより全郡的に大きな広がりを見せている。

3840万円のスポーツ振興助成金の内示も決定、場所も清水の町田建設から借り受け、着工目前ときいていたが、突然、白紙に戻された。何故か？

教育長 今後、適地や補助事業を模索しながら、グラウンドゴルフ場整備に向け、計画を見直して参りたいと考えております。

議員 3. 「いっちゃんむん市」のネーミング選定について

全国応募した中から、名古屋の方の「カケロマ☆ゆめきら」に決定した。その決定の通知をした後に、最近になって取り消した事を知ったときいている。何故か。その方の気持ちなど考えなかったのか

町長 当初、「カケロマ☆ゆ

議員 廃止路線代替バス事業の運営について

この10年間の路線バス（海浜バス、加計呂麻バス）運行費補助金の交付額を年度ごと示していただきたい。

町長 この10年間の廃止路線代替バス運行費補助金は、

平成18年度	6679万円。
平成19年度	6715万円。
平成20年度	6727万円。
平成21年度	7061万円。
平成22年度	6585万円。
平成23年度	7045万円。
平成24年度	6930万円。
平成25年度	7104万円。
平成26年度	7079万円。

めきらら」と決定しており
ましたが、加計呂麻島内の
住民、出荷予定者らで構成
する運営協議会の中で、決
定方法について、役場主導
で決められたことへの不満
が出され、運営協議会の中
で強く要望のあった「いつ
ちやむん市場」に変更いた
しました。

議員 4. 伊須、節子集落
の水害の記憶は、まだ頭から
離れません。人の命と財産を
守る事が政治の原点である
が、今後の対策について伺
います。

町長 最も水害の起因とさ
れた下流側、約100メー
トルの整備が終了しており
ます。上流側につきまして
は、現在、地籍調査を進め
ており、その結果に基づき
地権者の理解も得ながら進
めたい。節子については、

集落背後の水路の改修を整
備事業等で出来ないか、検
討しております。



元井直志議員

議員 シルバー人材活
用の現状について

瀬戸内町でのシルバー人
材活用のことからの計画に
ついて伺います。

町長 シルバー人材活用の
今後の具体的な方策につき
ましては、元気な高齢者の
皆さんが、ボランティア活
動や生きがいを持って就業
できる場の提供を関係機関
と協議を重ねながら進めて
いきたいと考えております。

議員 与路島・請島の介
護について

与路島・請島のこれからの
介護のあり方について、町側
の対応、考え方について伺
います。

町長 与路島・請島におい
ては、介護サービス事業者
が存在してなく、今後にお
いても介護認定者やサービ
ス利用者数からみて介護サ
ービス事業所の開設は、難
しいものと考えております。
両島の介護サービスにつき
ましては、現在行っている
特別養護老人ホーム「加計
呂麻園」による介護サービ
スを今後も継続・充実を図
っていきます。

議員 成年後見制度に
ついて

瀬戸内町における成年後
見制度、市民後見制度につ
いて伺います。

町長 本町における成年後
見制度につきましては、申
し立てる親族がない65歳
以上の高齢者、知的障害者、
精神障害者等を発見し、通
報を受けた場合に町長が成
年後見等開始審判申し立て
を実施することになります。

成年後見制度の利用が必
要と判断される認知症高齢
者又は知的障害者等で成年
後見の申し立てに係る費用
負担が一次的に困難な場合
に、その費用を助成し成年
後見制度の利用を支援して
います。

市民後見制度につきまし
ては、本町単独での市民後
見人の養成は現在、実施し
ていません。

議員 バイオマスにつ
いて

これからのバイオマスの
在り方について伺います。

町長 本町でのバイオマス
活用につきましては、循環
型社会を目指す国の方針に
より、全国で大手企業と各
県、市町村でこれまで取り
組んできておりますが、市
町村単位での計画にはかな
りハードルが高いものと思
われます。

今後とも県機関と連携を図
り情報交換・収集等を実施し、
木質バイオマスや森林資源
の利活用の調査・研究を進
めて参ります。



中村義隆議員

議員 町長の政治姿勢
について

中央公民館の跡地であり
ますが、解体を終えて半年に
なりますが、いまだ更地のま

まであります。今後の計画は、どうなっているのか伺います。

ようか伺います。

町長 中央公民館跡地は、古仁屋地区の中央に位置し、その場所に建設されていた従来の公民館が町民の文化・教育をはじめ、あらゆる活動の拠点として利用されると同時に災害時には、安全な避難場所として活用されてきたことから、本町の重要な公共用地として認識しております。

町長 通知カードの配布状況については、世帯数5303通の通知に対し、平成27年12月4日現在で4648通が通知され、約655通が、まだ通知されない状況にあります。平成28年5月頃までは、役場町民生活課で保管します。

現時点においてもフェリーかけろまの運航実績及び海の駅のコインパーキングの利用状況から見ても、その波及効果は継続しておりLCC効果も相まって本町そして、自然豊かな加計呂麻島への入り込み客数は大幅な増加傾向にあります。

議員 地元商店街の活性化を伺います。

議員 町民生活に関すること

網野子トンネルが開通して8カ月が過ぎましたが、その波及効果をどのように分析しているでしょうか伺います。

町長 網野子トンネルの波及効果については、ゴールデンウィーク期間中は、加計呂麻島の宿泊施設等においても、前年の2割上回る観光客が訪れております。

町長 トンネル開通に伴い、消費の更なる流出も懸念するところでありますが、そのトンネルの波及効果は、観光客はもちろん、これまでに南部大島に足を運ぶことが少なかった北部の人たちも訪れており、具体的な数字は示すことはできませんが、その効果は徐々にあります。出てくるものと期待しているところであります。



向野 忍議員

議員 ミカンコミバエの早期根絶対策について

生産農家、加工、販売、流通業者等への補償について伺います。

設定しています。しかし加工、販売、流通業者等への補償はありません。

そのため、県商工労働水産部商工政策課が「奄美大島におけるミカンコミバエ種群防止対策に係る被害相談窓口」の設置を関係商工会へ依頼しています。

町長 生産農家の買上げ額は、適正な用途と単価に基づくもので、客観性を重視し設定します。これに実測による重量を乗じて具体的な買上げ額を算出します。

議員 早期根絶には地元の足並みをそろえた協力が必要不可欠である。本町一体となった取り組みのため対策協議会等の設立が必要であると思つが見解を伺います。

買上げ単価は、品目毎に設定しその際、実勢価格等を考慮します。買上げ区分は、販売用・自家消費用で設定し、販売用は標準単価、上限単価、その他の単価で

町長 「瀬戸内町ミカンコミバエ等現地対策本部」を近日中に設置します。

議員 防災対策について

防災無線・FMラジオの難聴解消対策について伺います。(市街地、集落)

議員 マイナンバー制度について
全町民に通知できただし

町長 市街地においては、高丘地区町営住宅ろの5号棟付近、芦瀬地区東側一帯及び春日公園付近で防災無線鉄塔から距離があり、風向き等によって聞き取りにくい場所があると思われる。

対策として、難聴地区の直近にある防災無線鉄塔から有線ケーブルを延長し、屋外拡声器を設置します。また、屋外拡声器未設置地区（集落）は防災行政無線戸別受信機の配備を予定しています。

議員 **勝浦・阿木名間のトンネル化について**

「勝浦・阿木名間の国道は伊須湾に面し台風襲来時は荒波と化し、阿木名小中学校への通学路となっている歩道は、石混じりの波を被り、子供達は其中を大変危険な思いで通学している。また、

背後は急峻で崩壊が度々発生し、現在も片側通行となっている。早急なトンネル化の整備をお願いしたい」との阿木名、勝浦、網野子集落及び阿木名小中学校からの陳情である。対策を伺います。

町長 平成27年8月17日に瀬戸内事務所へ進達を行っています。

県としては、児童生徒の通学の安全確保については十分認識していますが、現在、進めている「主要地方道名瀬瀬戸内線」の浦工区及び伊目工区、「篠川下福線」の深山工区、「一般地方道安脚場実久線」の木慈工区等、2車線が確保されていない狭隘区間の着実な早期整備に努めたいとのことであります。

しかしながら、児童生徒の通学における安全性の必要性から、今後とも県と協

力しながら継続して要望したいと考えています



稲田隆一郎議員

議員 **次年度予算編成に向けて**

町長就任時の所信表明において、町民に対し8項目の公約を表明しましたが、任期4年で100%達成すると確信しておりますが、町長の見解を求めます。

町長 就任時の所信表明の中で、町民に示した8項目については、その施策を着実に実行するため、前所信表明の検証を充分に行いつつ、町民の皆様との連携、議会の皆様のご協

力を頂きながら、8項目の「100%」達成を目指し、努力してまいります。

議員 第4次長期振興計画の後期基本計画において、平成30年までに進めることを公表しておりますが、各種施設は計画どおり実現できるか伺います。

町長 第4次瀬戸内町長期振興計画（後期基本計画）の中で、主要プロジェクトとして計画してあります「町文化会館（仮称）」及び「町立給食センター」の整備につきましても、建設場所及び財源的な調整が必要であるため見直しを行い、整備実施時期についても検討中であります。

その他の施設整備につきましても、年度間の調整はありますが、計画期間である平成30年度までに整備予

定であります。

議員 瀬戸内町まち・ひと・ことと総合戦略について、本年7月に告示され、策定委員会での議論を経て、町長に報告することになっているが、次年度予算にどう反映されているのか伺います。

町長 平成28年度予算編成作業中であり、次年度予算へどう反映されたかという具体的なことはお示しできませんが、予算編成方針の中で「瀬戸内町まち・ひと・ことと創生総合戦略」に基づき事業を重点化事業として、優先的に予算配分したと考えております。

議員 **町政運営について**

所信表明の中で、職員の見識を促し、町民の声に真摯に耳を傾け、私利私欲にとら

われないのが、本来の地方自治の姿だと言われていますが、町民の声が反映される体制になっているか伺います。

町長 町長就任以来、多くの町民や全国の郷友会の方々が町長室に来られ、直接私が町民の声を聴き、即答できるものは即答し、検討を要するものは関係主管課にその旨を伝え、対応させるようにしております。

また、11月には、町政懇談会を5集落（与路、請阿室、池地、嘉徳、節子）で実施しましたが、引き続き、町内において随時、町政懇談会を開催して参ります。常に、町民の声に真摯に耳を傾ける姿勢を大事にしていきたいと考えております。



義岡幸三議員

議員 災害予防と減災について

地震や台風、豪雨などの自然災害や災害発生時に地域住民への正確な災害情報や避難誘導、二次災害防止など情報伝達の役割を果たすのが、防災行政無線です。

住民の安心安全な暮らしを確保するためにも、本町の防災行政無線屋外拡声器未設置地区への早急な施設整備をする考えはないか伺います。

町長 防災行政無線屋外拡声器未設置の伊目地区など9地区の世帯を優先に防災行政無線放送を屋内で受信

できる防災行政無線戸別受信機（一台4万5千円）の配備を予定しております。

議員 災害時の防災活動拠点機能と避難所を併設した防災センターを整備する考えはないか伺います。

町長 公民館跡地に平常時は公民館、非常時は避難所や非常用発電機、備蓄倉庫などの防災機能を備えた複合施設（仮称）「道路防災コミュニティ施設」を早急に整備できるように国、県と協議を進めていきたいと考えております。

議員 観光振興対策について

LCCバニラ・エア就航や網野子バイパス全線開通により、観光客の増加による地域経済の活性化を目指す本町にとって、観光振興の観点

から受入環境整備として公共トイレ施設や多言語（日・英語表記）観光案内板等の整備は重要な要素である。

町として早急に整備に取り組む考えはないか伺います。

町長 加計呂麻島はLCC効果によりレンタカーでの観光客等が増えており、島内を移動する際の公共トイレ不足が懸念されております。今後、公共トイレや多言語観光案内板の設置について、補助事業導入を含めて調査検討して参ります。

議員 加計呂麻島瀬相港フェリー待合所は、築30年を経過し老朽化が著しいです。手付かずの自然や地域資源を生かした観光施策を展開する上でも待合所の建替え、駐車場の確保や利用者の利便性に配慮した周辺整備が

必要であります。整備計画を検討する考えはないか伺います。

町長 瀬戸内創生実行計画（案）の与路・請・加計呂麻シマ構想の中で、瀬相港にターミナル兼役場加計呂麻島支所を設置する計画であります。

議員 教育振興について

本町は、古仁屋高校の活性化と学校存続対策を目的として、生徒に通学費の補助や様々な補助金を交付し、町を挙げて生徒確保に取り組んでおりますが、本町から奄美市の高校へ生徒が通学する場合において、保護者の経済的負担の軽減と生徒の修学機会の確保することを目的として「遠距離通学費補助制度」を創設し、助成する考えはないか伺います。

教育長 奄美市の高校へ通学する生徒のために「遠距離通学費補助制度」を創設することにより、古仁屋高校を受験する中学生が減少し、古仁屋高校の存続に少なからず影響が出る事が考えられますので、現時点において補助制度の創設は考えておりません。

議員 阿木名小・中学校の学習整備のためのプール施設の整備計画について伺います。

町長 校舎とプールに関しては、陸上自衛隊配備に伴う周辺整備事業で整備する考えであります。

自衛隊配備の前に整備を整えておく事が大事でありますので、早い情報を得た上で防衛省の方へ要望していきたいと思っております。



池田啓一議員

議員 町づくりについて

町長就任後、半年が過ぎました。いろいろな面で検証されていると思いますが、課題・問題等はないのか。また、町長の考える役場とは？

町長 町長就任後、政策推進室を中心に行政全般について検証しておりますが、その中で、予定されておりました瀬戸内町文化会館（仮称）の建設計画につきましても、駐車場の確保対策や対象事業の低率補助、事業費増大等の問題から、慎重に検討した結果、現計

画をいったん白紙に戻し、社会資本整備交付金事業の効果促進事業を活用した公民館機能を有する「防災コミュニティセンター」の建設を計画しております。

今後、予定されております大型公共工事等については、まちづくり全体の構想の中で、公共施設のあり方（適正配置や適正規模）について、町民の意見も聴きながら検証・分析や見直しを行って参ります。

次に、私が考える役場とは、第1に住民福祉の向上と民生安定を図るため、町民のための行政、町民のために仕事のできる役所であると考えます。

このことを実現するためには、役場職員が全体の奉仕者であることを自覚し、職員一人ひとりが自ら意識改革・意識向上に努め、町民のニーズを的確に捉

え、町民に良質なサービスを提供していくことと併せて、職員研修を実施し、職員の資質向上を図っていきたいと考えております。

議員 職員の「公人としての意識の統一、向上を図り、町民との立場の違い」を理解して職務を遂行して欲しい。町長の考えと対策を伺います。

町長 役場職員は、全体の奉仕者であることを改めて自覚し、職員一人ひとりが自ら意識の改革に努め、町民のニーズを的確に捉え、町民に良質なサービスを提供していくために、意識の統一、向上を図る必要があると思えます。

そういった中で、私が考える役場職員に求められる職員の意識として

1. 町民が主役であるとの認識を持つ。
2. 町民に公正・公平・誠実に対応し、信頼される。
3. 広い視野と先見性を持つ。
4. 自らの責任で考え、新たな課題に挑戦する。

次に、職員に必要な能力として

1. 政策形成能力。
2. 職務遂行能力・専門能力。
3. 対人能力。
4. 公務意識・姿勢。

以上の事について、私も含め、職員が自覚することによって、町や町民のための政策を実現していきたいと考えております。



委員会活動

第4回定例会では、総務経済常任委員会（向野 忍委員長）に付託されていた案件に対しての委員長報告がなされました。

（要旨は次のとおりです。）

総務経済常任委員会

『勝浦・阿木名間のトンネル化についての陳情』を採択

網野子、勝浦、阿木名東西の各区長及び阿木名小中学校長より、勝浦・阿木名間の国道は伊須湾に面し、台風襲来時は荒波と化し、阿木名小中学校への通学路となっている歩道は、石混じりの波を被り、子ども達はその中大変危険な思い

で通学している。また、背後は急峻で崩壊が度々発生し、現在も片側通行となっている。早急なトンネル化の整備をお願いしたいとの内容の陳情で、町建設課長、同課長補佐の出席を求め現地調査を行いました。

建設課長より、これまでの経緯と現状について説明がありました。

委員からは、台風襲来時に大波の状況写真を撮り、県へ提出してはどうか。また、勝浦集落を通る現国道は、狭くて大変危険である。さらに、勝浦橋は歩道が狭く柵もないので危険である。ダンク等の交通量も多くトンネル整備時に架け替えが必要であるとの意見がありました。

次に、大島支庁瀬戸内事務所建設課長、同係長、町建設課長補佐との意見交換を行いました。

瀬戸内事務所からは、今すぐは無理であるが、今回の陳情は、県本部に上げている。今後、要望書等がなければ計画が立てられないので、毎年でも出してもらった方がよいとのことでありました。

委員より、海岸側通学路は手すり等の破損や歩道の凸凹等、早急な補修が必要であるとの意見に対し、来年度要望していきます。また、必要と思える改修、改良等出して頂きたい。何とか対応するよう努力していきますとのことでありました。



陳情者と意見交換を行う総務経済委員（阿木名公民館にて）

以上の現地調査、意見交換等の審査を踏まえ、全会一致で採択すべきものと決定しました。

また、次の意見を町当局へ提出しました。

『勝浦・阿木名間のトンネル化についての陳情』

審査意見

1. 国道58号は、大島本島の基幹道路であることはもとより、子ども達の通学路である。安全性の確保・防災対策の観点からも、あらゆる方向から事業導入の可能性を探り、一日も早いトンネル化の実現に向け取り組まれない。

2. 国・県に対し、トンネル化の早期整備の要望等を途切れることなく提出し続け、より一層の連携、協議を行い早期実現を強く要望されたい。

編集後記

◆鎌田新町政が町民に約束した「瀬戸内創生マニフェスト」実現のため、「瀬戸内創生実行計画書」（案）が示された。

◆中央公民館跡地への防災機能等を充実させた公民館の建設や文化スポーツ村構想、与路・請・加計呂麻シマ構想など7テーマ、総事業費243億円の計画である。

◆町民、町職員、郷友会、議会等一体となった「チー△せとうち」で臨まなければならぬ。（向野）

議会報編集委員会

委員長	向野 忍
副委員長	池田 啓一
委員	安 和弘
〃	岡田 弘通
〃	稲田隆一郎
〃	吉見 洋和